

「乳酸菌 L.ラクティス プラズマ」摂取によるデング熱様症状の抑制を確認

【臨床試験概要】

調査期間： 2019年12月～2020年2月（摂取期間8週間）
 対象： クアラルンプール近郊のデング熱高感染地域に居住する健康な成人男女 約100名
 試験方法： 無作為化プラセボ対象二重盲検試験

【試験結果】

「乳酸菌 L.ラクティス プラズマ」の投与によりデング熱特有の臨床症状である「頭痛」、「関節痛」、「目の奥の痛み」（図1～3）について症状の累積発生日数を有意に減少させました。この結果から、デング熱治療には対処療法しかない中で、食品である「乳酸菌 L.ラクティス プラズマ」が、その症状緩和・重症化予防に役立つことが示唆されました。

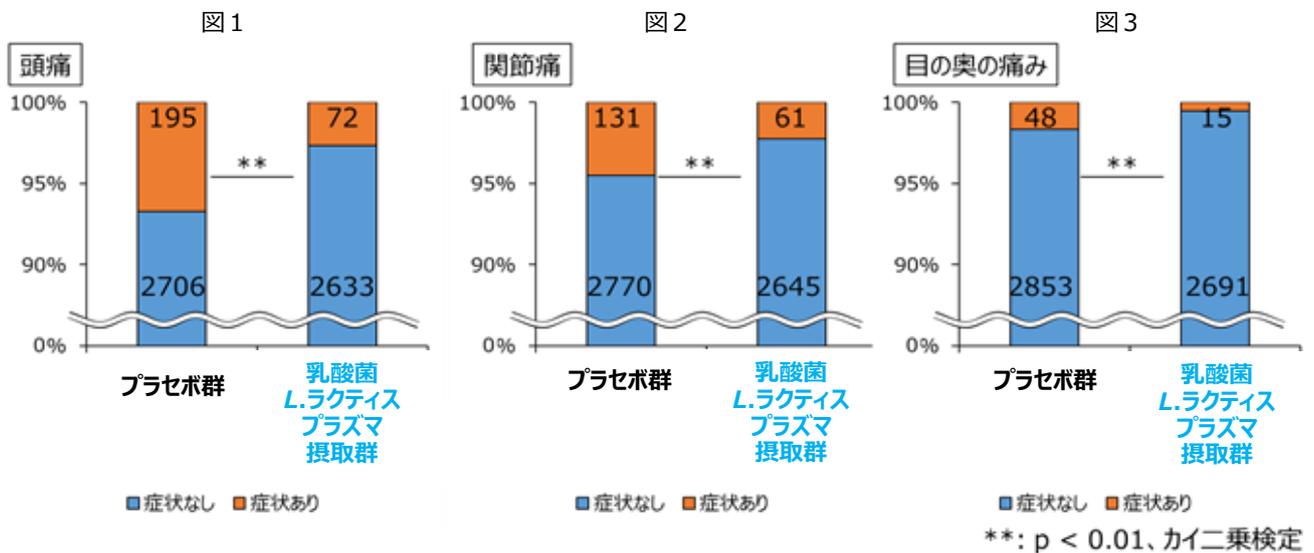


図1～3 デング熱など熱帯病特有症状の累積発生日数の比較（代表的な症状）

※ 出展: Tsuji et al., *Antiviral Res* (2018年) / Suzuki et al., *Int J Mol Med*. (2019年)